

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人教泉会

平成28年度事業報告

平成29年3月31日

社会福祉法人 教泉会

1.黒野こども園運営状況

平成27年度の申請期間を経て、幼保連携型認定こども園設立に向け準備が行われてきましたが、平成28年4月より幼保連携型認定こども園「黒野こども園」として新たなスタートをすることができました。認定こども園という新しい制度に将来を見据えて移行を果たしが、内閣府が所管しているとは言え、現実には文部科学省・厚生労働省の二重行政の基での運営となった。窓口は基本は岐阜市子ども未来部子ども保育課ではあるが、文部科学省、厚生労働省、岐阜県生活環境部私学振興課、岐阜市教育委員会というように多義に渡りかなり煩雑になった感は否めない。

内閣府という組織の基に期待をしていたが残念ながら園内の事務も繁雑となり、新たに保育料の徴収という業務も加わり事務部門も戸惑いが多くみられた。

一方、学校教育に位置づけられたことで新たに教育委員会等の研修に参加する機会が増えた結果、乳幼児期の教育・保育に対する考え方にも相違もみられることもあり、子どもの育ちという面から今後課題としなければならないと考えている。0歳からの関わり方の保育園と3歳からの幼稚園での捉え方違いを感じている。社会環境の大幅な変化が子育て支援をおこななければならない状況を垣間見ることとなっている。

こども園の運営であるが、昨年度より施設給付費の算出の方法が一律ではなく各園の取り組みの状況に応じて加算される方法に変更された。特に認定こども園に関しては、加算部分が職員数によって加算、減算となる方法をとっているため算出も複雑となってきた。

保育士の確保が厳しい今日、制度のメリットを最大限活用するには大変な状況がある。

本来、この加算部分の多くは月々の請求で処理するのであるが、人員が確保されていれば適用されるチーム換算が年度末の精算払いとなったことから、精算が未収金扱いとなった。取り扱われる用語もかなり保育園時代と違い、理解に時間を要する場面もあった。

児童の管理についても、保育認定の変更、所得、家庭環境の変更によって保育料が遡り変更するなど、行政的な複雑な対応が悩みの種となっている。今年度も住民税の算定での保育料変更、兄弟関係の保育料の見直しで、2百数十万円の返金が発生し、対応に苦慮した。各家庭に保育料変更のご案内が行くため、保護者への返金も市との清算以前に返金をすることから、流動性の資金を確保しておかなければならない。

施設整備では、照明設備のLED化を3期に分け実施した他、水漏れ箇所の調査・修繕、反射フィルムの張替、保育室の拡張工事等を実施した。

次に保育内容については、一昨年度から取り組んできた自己肯定感の育成を始めとして、3歳未満児の担当制保育、3歳以上児の自ら活動を選択する保育を充実するため、環境整備を引き続き実施してきた。また、3歳以上児では年齢ごとに興味、感心の度合いで学習課題を持ち、学びが深めていく取組も始まってきた。

このような取組の成果として、子ども達がとても落ちついて生活する姿がみられると共に、人と関わりが盛んに見られるようになった。主体的に遊びに関わることで、遊び込む姿がみられる。年長児では子どもの中で話し合いをし協同して活動姿がみられる。学習意欲が高まり、物事を探求することで、更に深い学びを得る等の結果が見られる。

今後の課題としては、年齢ごとの目標・計画立案に基づき各クラスでの子どもの興味、関心事項をうまく捉え、保育教諭がいかにか課題を提供していくのかがポイントとなると思われることから、園内研修、学年での話し合いを密にしながら教育・保育に当たっていきたい。

2.黒野こども園運営実績

1. 保育園の概要

(1)園名 社会福祉法人教泉会 黒野保育園

(2)所在地 岐阜市古市場 111 番地 28

(3)定員 360 名

2. 平成 28 年度職員数

園長 1 名 副園長 1 名 主幹保育教諭 2 名 指導保育教諭 1 名 保育教諭 51 名 看護師 2 名 栄養士 1 名 調理員 4 名 事務員 2 名 講師 1 名 運転手 1 名

3. 平成 28 年度入所状況

月	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
4 月	9	41	59	88	80	81	358
5 月	10	39	60	88	79	84	360
6 月	11	41	60	88	79	84	363
7 月	16	41	61	88	79	84	369
8 月	18	40	60	86	79	84	367
9 月	18	40	60	85	79	84	366
10 月	23	40	59	85	79	84	370
11 月	23	40	60	85	77	84	369
12 月	23	40	60	85	77	84	369
1 月	24	39	60	85	75	84	367
2 月	24	40	60	85	75	84	368
3 月	24	40	60	85	75	84	368
合計	223	481	719	1033	933	1005	4394

4. 理念・保育目標達成に向けての取組

『子どもたちは未来を担う宝物である』

子どもたちの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために、今あらためて「遊びの環境」を充実させ、「遊び込む力」＝「学ぶ力」を育てていくとの考えのもと、自然・物・人・社会といった様々な環境と共振（共に身体を動かす）したり、共鳴（共に心を動かす）したり、共創（共に脳を動かす）したりできる子どもを「プレイフルキッズ」と呼び、全身全霊で環境に関わって「遊び込む子ども」の育成をめざしてきた。

そこで、「ほっこり」「わくわく」「じっくり」「わいわい」という教育・保育の 4 つの窓を軸とする環境創りを行い、子どもたちが主体的に共振・共鳴・共創できる遊び（学び）の環境を充実させるよう子どもへの関わりを持つよう取り組んできた。

また、子育て支援センターを核に、保護者が育児に夢や希望を抱き、育児の中で子どもと共振・共鳴・共創できることを「プレイフル育児」と呼び、地域における世代間交流や地域の関係機関との連携を図りながら、保護者として成長していくためのサポートをしてきました。

そこで、学校教育法・児童福祉法の理念を基本としながら、入園する乳幼児の教育・福祉を積極的に増進することを目的とし、また、こども園での生活が生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で、きわめて重要な場であることに鑑み、家庭や地域社会との連携を密にしながら、家庭養育の補完を行ない、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を構成し、自己を十分に発揮して主体的に活動しつつ、健全な心身の発達を図っていく。そのために、養護と教育が一体となる保育を目標とし、下記の保育目標を掲げ保育を行ってきた。これに基づいてこの 1 年をかけ新たな教育・保育課程の作成を行ってきた。特に近年の青少年を取り巻く問題が、社会不安の要因と成っている。このことが乳幼児期の関わりに起因していることが問題視されている。園においても、子どもにしっかりと向き合うことを確認してきた。

また、年長児については、小学校との連携を積極的に図ることを目的として、黒野こども園版アプローチプログラムを作成し近隣小学校へ配布すると共に、懇談の機会を設けた。

しかしまだまだ学校によっては幼少保の連携が形式的に考えられている側面もあり、今後の課題として捉えている。

年長児の保育要録については各校に送付をした。

- (a) 自己肯定感を培う
- (b) 丈夫なからだを培う ()
- (c) 基本的な生活習慣、態度を養う
- (d) 人とのかかわりをもつ力を育成する
- (e) 身近な環境に意欲的にかかわる力を育成する
- (f) 日常生活に必要な豊かで正しい言葉を身につける
- (e) 自分が感じたことを豊かに表現する力を育成する

5. 保育の内容

- (a) 個々の子どもの置かれている環境状況を把握しながら、子どもを暖かく適切な保護、世話を
行ない安定した気持で生活をさせながら、人への信頼感を培っていくことを心がけた。
- (b) 子どもの発達課題を考慮に入れながら、一人一人の特性に応じ、保育にあたった。
- (c) 子どもの生活のリズムを大切に、自己活動を重視しながら、生活の流れを、安定し、かつ
調和の取れたものにするに配慮した。
- (d) 子どもが自発的、意欲的にかかわるような環境の構成と、そこにおける子どもの主体的な
活動を大切に、乳幼児期にふさわしい体験が得られるような総合的な保育を行なうことに
心がけた。
- (e) 個々の子どもの活動を大切にしながら、子ども相互の集団活動をとおしての育ちが保障され
るように援助することを配慮した。

6. 保育の環境

- (a) 施設、屋外遊戯場は、子どもの活動が豊かに展開されるためにふさわしい広さを持ち、遊具
・用具・その他の素材などを整え、それらを十分に活用できるように配慮した。今年度は懸案
であった遊具の更新を行い、運動機能、バランス感覚の向上に寄与する遊具を選定し設置
をした。
- (b) 施設は、採光・換気・保温・清潔など環境保健の向上に努め、特に、2階の危険の防止と災
害時における安全の確保について配慮した。
また、衛生管理面では、厨房・保育室・便所等の衛生管理に留意と共に業者委託による園内
消毒を実施した。
- (c) 保育室は、子どもにとって、家庭的な親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活
動できる場となるように配慮した。
- (d) 自然事象や社会事象への関心が高められるように、それらを取り入れた環境をつくるように
配慮した。
- (e) 修繕を兼ね照明設備のLED化を進めた。また水道漏水修繕、反射フィルムの張替を行った。
また、バランス感覚を養うことを目的にホールのクライミングウォールを設置した。

7. 保育計画について

保育所保育指針に従い、保育の計画は、入園している子ども及び、家庭、地域の実態を考慮しつ
つ、また、保育の目標とそれを具体化した各年齢ごとのねらいと内容で構成すること。さらに、そ
の保育計画に基づき、保育を展開するための具体的な計画として、月の指導計画・週の指導計画を
作成すること。また、その作成された保育の計画を踏まえ、保育が適切に進められているかどうか
を把握し、次の保育の資料とするため、保育の経過や結果を記録し、自己の保育を評価・反省する
ことに努めることに力点を置いた。

8. 児童の検診等実施状況

- ・内科検診 1回目 6月2日・6月9日 2回目 2月21日・22日
人件費支出 201,600円
- ・歯科検診 6月9,10日
人件費支出 126,000円
- ・耳鼻科検診 5月23日、5月24日
人件費支出 154,800円
- ・眼科検診 5月20日、5月27日
人件費支出 154,800円
- ・児童検尿・検便検査 6月17日、10月21日

9. 職員研修

- 全国私立保育園研究大会東京大会 7/4.5.6 4名
- 県中堅、初任研修 6/29 4名.7.5 2名 10/25 2名 9/1 2名 12/6 2名
- 県民間保育園連盟保育セミナー 6/11 14名
- サライ先生研修 6/16,17,30.9/7 9/13 9/14 2/15 2/17 2/20
- フレベル会研修 8/6 18名 12/17 14名 2/18 10名
- 民間保育園連盟研修 9/27 13名
- 理事長・所長研修会 10/18,19,20 1名
- 乳幼児発達事故防止研修 12/20,21,22 2名
- 岐阜市保育協会研修 7/4 11/21 20名
- ハンガリー研修 1/8～1/15 2名
- 全国私立保育園連盟 保育総合研修会 1/25,26,27 4名
- その他 多数

10. 環境衛生検査

- ・岐阜市学校薬剤師会による環境衛生検査実施 5月12日(給食室)(水質) 6月2日、11月17日 12/7(環境衛生)、2月9日(給食室)
保健衛生支出 149,488円
- ・調理員0-157検便検査 月2回実施 ノウルス年2回実施
厚生経費支出 407,358円

11. 加入保険

- ・全私保連 保育園児団体傷害保険・保育園賠償責任保険加入

12. 年間の行事

園の行事に参加することを通して、園生活に潤いや変化を与え、さらに新たな生活を広げられるように配慮し。また、地域の人々とのかかわりが持てる場となるように配慮した。

- 4月 辞令交付(1日) 入園式(6日) 親子遠足(22日)
- 5月 野菜苗植え(学年ごと)
歯磨き指導(クラス単位)
- 6月 観劇(24日) 保育参観(22,28日)
- 7月 プール開き(1日) 合宿(年長 23,24日)
- 8月 夏祭り(8日)
- 9月 プール納め(2日) 保護者会勤労奉仕(17日)
- 10月 運動会(11日) 遠足(14日)
- 11月 金華山登山(18日) 中学校交流会(26日他)
- 12月 造形展(4日) クリスマス会(22日)
- 1月 年長組懇談(19日、20日) もちつき(13日: ノウルスの流行により延期)
- 2月 節分(3日)
- 3月 生活発表会(3日) 遠足(17日) 卒園式(24日)
- 毎月 誕生会・避難訓練
6月より不審者避難訓練(隔月)

3.子育て支援

子育て支援室ゆずり葉

<運営方法>

- ・ 就園前の乳幼児とその家族が気楽に立ち寄り、そこで心地よい一時を過ごしていただくための場や空間を提供する。
- ・ 就園前の乳幼児やその家族の実態やニーズを把握しながら、それに応じた子育て支援プログラムを意図的に準備する。
- ・ 保育者が乳幼児に関する相談に随時応じる。また、ケースに応じて各領域の専門スタッフと連携を図り、課題の解決に向けて支援をする。
- ・ 保護者向けに子育て及び子育て支援に関する講習やセミナーを実施し、子どもの発達への理解を促したり、子育てを楽しく感じられるノウハウを提供する。

<利用対象>

- ・ 就園前の乳幼児とその保護者
- ・ 子育て支援・家庭支援に関心のある地域の方々。

<具体的業務>

- ・ 子どもと親の集いの場や空間の提供。
- ・ 子どもと豊かな親子関係を築く為の援助
(親子活動のサポート・子育ての仲間作りの支援など)
- ・ 子育てに関する相談に応じる。
- ・ 子育てに関する通信の発行・子育てセミナーの開催を行う。
- ・ 親子教室を実施し・親子でふれあい、楽しんで遊べる時間の提供。

<開設日程・時間>

- ①子育て支援室「ゆずり葉」を利用したこどもと親の集いの場や空間の提供
(登録制)

月～金 午前10:00～16:00

土・日・祝日 又は黒野保育園の行事の期間は休み

- ②園庭開放

月～金 午前10:00～午後2:00

土・日・祝日又は黒野保育園行事は休み。

- ③親子教室 (予約制)

年間3グループ(各グループ 全5週間)

- ④子育て支援プログラムの提供

随時、通信にてお知らせします。

- ⑤相談事業

- ・ 電話相談 月～金 午前10:00～午後2:00

- ・ 面接相談 随時

- ⑥子育てセミナー

日程が決まり次第通信で随時知らせる。

<利用料>

- ・ H28年度保険料として、初回利用の際に一人(保護者・子ども 共に)につき90円を徴収させていただく。(この保険料はH28年度分なので、一度保険料を納めれば、平成29年 3月31日まで有効)

<利用者数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月
131	227	204	241	153	181
10月	11月	12月	1月	2月	3月
198	206	90	152	157	52

*利用者は、子育て支援室ゆずり葉、園庭開放、子育てセミナー、親子教室、子育て相談の利用者も含まれる。

親子教室

【ねらい】

子どもとどのように遊べばよいのか、その関わり方などに困っている保護者や、子どもにどんなふうに対応すればよいのか悩んでいる保護者に向けたプログラム。特に親子教室では、実際に保育者たちが子どもと関わる姿を通して学んでもらい、また、一緒に子どもと体を動かしながら、子育ての楽しさを感じてもらうことをねらいとする。参加者がこの教室終了後、子育ての仲間として、自主サークルを作るきっかけになることも目的のひとつとしており、保護者同士が子育てについて気軽に話ができる関係になってほしいと願っている。

平成28年度親子教室日程

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
A	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16
B	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28
C	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/24
D	H29 1/12	1/19	1/26	2/2	2/9	2/16

毎週木曜日

◎1・3・5回（午前10:00～12:00）

◎2・4・6回（午後1:00～3:00）

定員 20名程度を1グループ

地域子育て支援活動

地域の子育て支援団体と連携を図り、出張保育や簡単なふれあい遊びの紹介などを行う。また、子育て支援活動の場所を提供して、園の施設を開放する。

*平成28年10月24日（月）10:00～12:00実施

場所：黒野こども園 2Fホール

育成会の流れ

10:00	☆来場者から受付 ☆好きな玩具で遊ぶ ・マット ・平均台等
10:30	☆手遊び・ふれあい遊びをする
11:00	・（親子での遊び、親同士の交流を促す遊びなど）
11:30	☆修了証書授与式

青少年育成会の取り組みは、黒野地区の子育てサークルを発足させるための支援事業であるため、こうした機会に黒野こども園の子育て支援活動も知らせていった。

黒野・西郷地区子育て支援ネットワーク協議会

様々な問題を抱える家庭が増え、こども園、地域子育て支援センター内だけでは解決や支援が出来ないケースが増えてきた。子どもと保護者のよりよい成長のために、地域の関係諸機関との連携を密にしていく必要がある。また問題が起きてからではなく、日頃から情報交換をしていく事が大切である。よって黒野、西郷地区子育て支援ネットワーク協議会のメンバーとして、会員と連携を図り子育て情報の発信、情報収集、家庭や発達に問題を抱える子ども（在園児、地域の未就園児とも）サポートを行ってきた。

4ヶ月・3歳児健診会場での「出張子育て支援」実施

西部ふれあい保健センターで行われる4ヶ月・3歳児健康診査会場での「出張子育て支援」の実施。（毎月1回。第2金曜日。）

実施内容

- ・ 健診会場にて、健診の順番を待ったり、保護者が用紙に記入している間、子どもと一緒に遊ぶ。
- ・ 健診を待つ間、子ども対象にパネルシアターなどを用いて話をする。

体験事業

*ハッピーパパ・ママ出産前セミナー

6月7日 11月2日 出産前セミナー

～育てよう信頼関係～

保育士が講師となりセミナーを行った。参加者は1名で、0、1歳児クラスの見学をして出産に対する期待を持ってもらい、保育士による出産後の支援などの話を伺った。今回は1名のみの参加だったが、その分じっくりとお話を伺いながら、その都度アドバイスを差し上げたり、お母さんの思いを十分お聞きすることができた。今後も妊娠から出産までで終わらず、出産後の支援があるということをきちんと伝えて行くことが、子育て支援の第一歩になると感じた。

*ハッピーパパ・ママ 保育所体験事業

入園を控えている0、1、2歳児の親子で、保育所の実際の保育を体験します。給食と一緒に食べることもできます。

ゆずり葉セミナー（主に開催したもの）

	内 容	参加人数		内 容	参加人数
1回	戸外遊びイベント① 園庭自然探検隊	37人	7回	ゆずり葉運動会	27人
2回	戸外遊びイベント② 砂場・土山で遊ぼう	15人	8回	物作りセミナー	46人
3回	ゆずりは水遊び	42人	9回	室内遊具で遊ぼう	19人
4回	七夕会	33人	10回	ゆずりは クリスマス会☆	26人
5回	再就職相談会	11人	11回	ゆずり葉 「節分行事」	22人
6回	砂場土山 泥んこ遊び	19人	12回	保育園見学セミナー 「保育園体験」	30人

一時預かり

利用目的

保護者が以下のような理由で、子どもを家庭で保育できない場合に、保育園で一時的に預かる制度。

• 仕事の都合 • 通院や治療 • 看護	• 学習 • 免許取得 • 資格取得	• 冠婚葬祭 • 引っ越し • 出産	• 育児に伴う心理的や肉体的な負担を解消するための預かり
----------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------

*対象児童

市内在住の生後57日目又は6ヶ月目から就学前の子ども。

*利用期間

利用は月に14日以内を限度とする。就労の為の一時預かり保育事業は、週3日を限度とする。

*一時預かり保育利用者

一ヶ月ごとの各年齢の利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
未満児	1	7	13	21	9	19	11	29	28	5	1	6	150
以上児	1	0	0	5	0	8	5	7	3	0	0	0	29
月合計	2	7	13	26	9	27	16	36	31	5	1	6	179

4.今年度採用職員

氏名	職名	氏名	職名
西垣 安久	園長	小松原千絵美	保育教諭
西垣 真由美	副園長	井川 さおり	保育教諭
馬場 佑真	保育教諭	肥田 知美	保育教諭
馬場 尚子	保育教諭	津田 安紗美	主幹保育教諭
熊澤 真里奈	保育教諭	中山 比鶴	保育教諭
小原 千穂	保育教諭	高井 彰子	保育教諭
笠原 由衣	保育教諭	川脇 淳子	保育教諭
原田 彩香	保育教諭	佐野 珠美	保育教諭
高井 香名	保育教諭	多賀谷 佐代子	保育教諭
上野 里奈	保育教諭	高井 律子	保育教諭
小塩 万璃	保育教諭	影山 美代子	保育教諭
瀧花 幸子	保育教諭	小原 香織	事務員
小林 真理子	保育教諭	松下 晴子	保育教諭
町田 萌	保育教諭	熊田 さつき	保育教諭
河野 里奈	保育教諭	河村 由紀子	保育教諭
森田 亜理紗	保育教諭	鎌足 由香	看護師
木野村 綾香	保育教諭	日比野菜乃美	保育教諭
岡本 彩友美	保育教諭	都竹 菜美子	保育教諭
後藤 稔直	保育教諭	宮部 洋子	調理員
村瀬 実希	保育教諭	林 悦代	保育教諭
青木 優衣	保育教諭	山本 裕子	保育教諭
横山 琴未	保育教諭	樋口 隆	運転手
村居 名奈子	保育教諭	後藤 智子	助手

氏名	職名	氏名	職名
濱野 瑠美	保育教諭	岡崎和歌子	保育教諭
高井 美奈	保育教諭	油谷 緑子	助手
泉 実希	保育教諭	脇田 和子	講師
西垣 浩康	保育教諭	野々村さとみ	事務員
田中 遥	保育教諭	早矢仕洋子	保育教諭
香村 綾乃	保育教諭	服部 磨季	保育教諭
水上 湧稀	保育教諭	佐藤 千果	看護師
高橋 桃花	栄養士	藤波 良子	調理員
品平 明美	主幹保育教諭	林 恵美	保育教諭
土居 美加	調理員	久保 詩織	保育教諭
加藤 千里	調理員	梅田 真澄	保育教諭
辻 幸子	保育教諭	宮ノ腰美有紀	保育教諭

その他嘱託医 岐阜市安食 福富医院 福富 悌医師
岐阜市黒野 西村歯科医院 西村 悟医師

保育時間

1号保育時間 午前 9時00分～午後 3時00分
保育短時間 午前 8時30分～午後 4時30分
保育標準時間 午前 7時00分～午後 6時00分
延長保育 午後 6時00分～午後 7時00分

5. 保育施設

園舎 別添図面のとおり
備品 運用財産に記載のとおり

6. 決算

別途決算書の通り

7. 法人の運営

第1回理事会

期 日 平成28年 4月16日（土曜日）
時 間 午後 1時00分より
場 所 黒野保育園職員室
議 題

第1号議案 理事長選任
第2号議案 理事長代理の件
第3号議案 その他

第2回理事会

期 日 平成28年5月26日（木曜日）
時 間 午後 1時00分より
場 所 黒野保育園職員室
議 題 第1号議案 平成27年度事業報告について
第2号議案 平成27年度決算報告について
（監査報告含む）
第3号議案 第2次補正予算案について
第4号議案 その他

第3回理事会

期 日 平成28年12月26日（月曜日）

時 間 午後 1時00分より

場 所 黒野保育園職員室

議 題 第1号議案 定款変更についてについて

第1号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

第3号議案 評議員選任・解任委員の選任について

第4号議案 新評議員候補者の決定

第5号議案 評議員選任・解任委員会の招集について

第6号議案 第3次補正予算案について

第7号議案 その他

第4回理事会

期 日 平成29年 3月27日（月曜日）

時 間 午後 1時00分より

場 所 黒野こども園職員室

議 題

第1号議案 平成28年度第4次補正予算案について

第2号議案 平成29年度事業計画案について

（平成29年度人事含む）

第3号議案 平成29年度予算案について

第4号議案 就業規則・給与規程改正について

第5号議案 経理規程改正について

第6号議案 評議員会運営規程（案）について

第7号議案 評議員選任・解任委員会の報酬について

第1回評議員選任・解任委員会

期 日 平成29年 3月17日（金曜日）

時 間 午後 1時00分より

場 所 黒野こども園職員室

議 題

第1号議案 評議員選任・解任委員会委員長選出について

第2号議案 評議員選出について